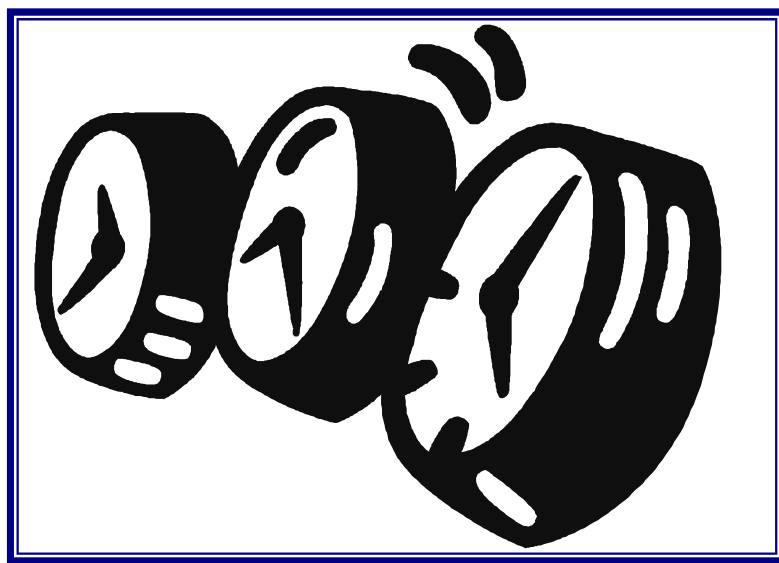

岡崎むかし館体験講座

**タイムスリップ
昔のはかり方にチャレンジ!!**



ワークシート
ワークシート

日にち：平成24年10月13日（土）、11月3日（土）
時間：①10:00～、②14:00～

国語辞典で
しらべてみよう！

□ 「はかる」の意味は？

『広辞苑』では、「量の解(わか)らないものに対して大体の見当をつける。数量を知る。」

・『 _____ 』では _____

・『 _____ 』では _____

※ 「はかる」には、ものごとを比べる(自分が持っている)基準が必要です。

○ 「はかる」の始まりは体の感覚、「はかる」道具は人の感覚を形にしたもの
人の体の部分の長さや、うでや肩に感じる重さ、目や耳で感じる感覚が基準

▼ 昔の中国や日本の単位には「握」「歩」などがありました。また、江戸時代に使われた距離の一里は、人が1時間に歩いた距離(約4km)が基準となっています。

▼ 今でも、料理をする時に、塩：ひとつまみ〔親指・人差し指・中指でつまんだ量＝小さじ1/5～1/4(0.6～0.8g)程度〕と表現したりします。

(参考図書：『ニッポンのサイズ』石川英輔,淡交社,2003年)

□ 体験《体ではかってみよう》

・ 握る：一握り分の量は何g？

自分の予想(_____ g) 実際の重さ(_____ g)

・ 持つ：重さの比較…㊤右手と㊤左手に持ったもの、どちらが重い？

㊤右手 ㊤左手 / 実際の重さ(㊤ _____ g、㊤ _____ g)

・ 歩く：歩幅で長さをはかる

自分の一歩は(_____ cm)、むかし館の床地図は直径(_____ cm)

■ ちょっと昔の「はかる」道具をしらべよう！

この写真の道具は、どのようなものをはかる時に使ったのかな？

道具の形や、使うための工夫がされているところなど、気がついたことがあったら書きましょう。



*道具の名前

*使い方（何をはかる？形などの特徴？）

・

・



*道具の名前

*使い方（何をはかる？形などの特徴？）

・

・



*道具の名前

*使い方（何をはかる？形などの特徴？）

・

・

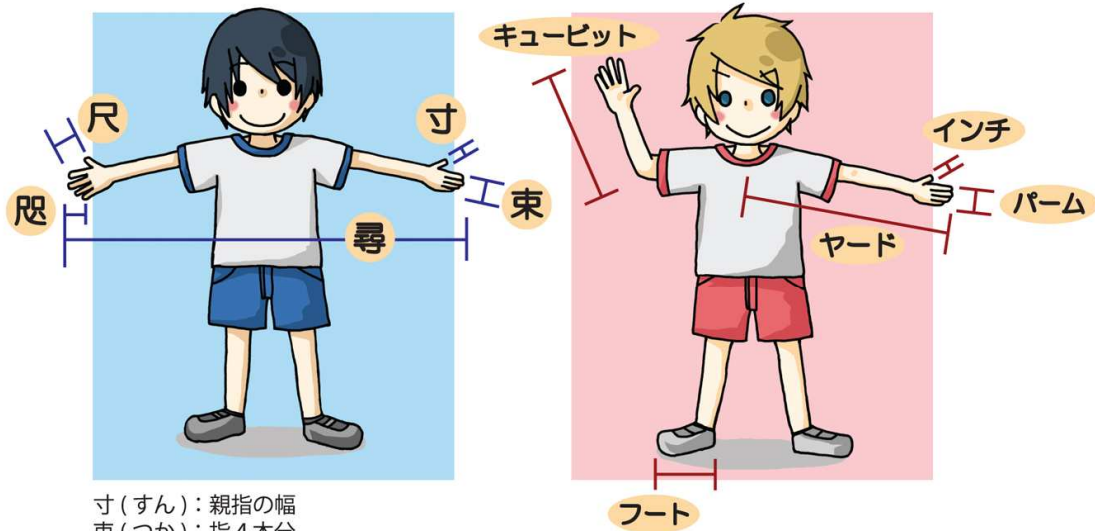
■ 「はかる」道具をしらべた感想やもっと知りたいと思ったこと。

・

・

・

体を基にした昔の長さの単位



寸(すん)：親指の幅
 束(つか)：指4本分
 尺(しゃく)：親指と人差し指を広げた幅
 咫(あた)：手を開いた時の中指から親指の先端
 尋(ひろ)：大人が両手をいっぱい広げた幅

参考：富山市科学文化センター『とやまと自然』第25号夏の号, 2002, 6P, 図1
 『世界大百科事典』平凡社, 2005

どりょうこう かんさんひょう 度量衡の換算表

■ 度<長さ>

尺貫法		メートル法
1分	=10厘=100毛	=0.30 cm
1寸	=10分	=3.03 cm
1尺	=10寸	=30.30 cm
鯨1尺	=1.25尺	=37.87 cm
1丈	=10尺	=303.03 cm
1間	=6尺	=181.81 cm
1町	=60間=360尺	=109.09m
1里	=36町=12960尺	=3.92 km

■ 量<体積>

尺貫法		メートル法
1升	=10合=100勺	=1.80ℓ
1斗	=10升	=18.03ℓ
1石	=10斗	=180.38ℓ

■ 衡<重さ>

尺貫法		メートル法
1匁	=10分=100厘 =1000毛	≒3.75g
1斤	=160匁	≒0.6 kg
1貫	=1000匁	≒3.75 kg
千貫		≒3.75 t

阿部猛『度量衡の事典』同成社,2006,171p-174pより抜粋